

文学部創設五十周年記念特集号に寄せて

文学部長 酒 井 敏

中京大学文学部は、商学部・体育学部が続いて、法学部と共に昭和四十一（一九六六）年に心理学科・英文学科・国文学科の三学科体制で発足しました。二一六年は五十周年の節目に当たります。

この半世紀、文学部は何度も組織改革を繰り返してきました。心理学科と英文学科が相次いで学部で改組され、二二年には国文学科一学科のみの体制を経験します。翌年、言語表現学科が増設され、国文学科も日本文学科に名称変更、二学科体制となりました。言わば、縮小の底から拡大へと転じたわけです。そして、二一四年には歴史文化学科を増設、大学冬の時代と呼ばれる厳しい状況の中で拡大を続け、活発な教育研究活動を展開しています。

こうした蓄積に立つて、学部同窓会を組織し、ご退職された先生方、在職教員、総長・理事長、学長を始めとする大学関係者を囲む五十周年記念同窓会を六月に開催しました。実に多くの卒業生・修了生が集い、大盛況の内に出席者一同かけがえのない楽しいひとときを過ごしました。現在も元気な、文学部の勢いを示す絶好の機会

でもあったと存じます。

十年ごとに企画・編集されて、今回が四回目となるこの文学部紀要特集号も、そうした蓄積と勢いを示す場です。前回までと同様、ご退職された先生方、在職教員と卒業生・修了生に寄稿をお願いいたしましたところ、慌ただしく、またご多忙中のお願いだっただにも関わらず、二十一編のご論考を得ました。玉稿を寄せて下さった各位に、心より御礼申し上げます。三学科体制が完成するのは来年度になりますが、従来より幅広く内容の豊かな編集ができたと自負しております。読者の皆様には、ご指導ご鞭撻いただきますようお願い申し上げます。また、特集号発行にご尽力いただきました関係各位には、篤く御礼申し上げます。

これからも文学部は、古籍等の図書資料や歴史史料の収集だけでなく、機器や施設も含めた学習環境の充実に努め、教員一同、教育研究に日々研鑽を積んで参ります。人文学軽視の風潮が強まっている昨今ですが、斯学の重要性を自覚し、現在の勢いを保持して、ますます発展してゆけるよう努める所存です。着実な歩みを続ける文学部に、今後ともよろしくご指導ご支援賜りますよう、衷心よりお願い申し上げます。